

熱田靈知 ねつた 佛教學者。安政元年十一月二十七日生れ、大正七年十一月二十日歿（一八五〇—一九一八）。明治十八年眞宗大教校教授とあり、佛敎大學教授として二十二年間教育に従事。京都帝國大學の哲學科新設の際に講師となり、インデ哲學を講じた。四十一年勸學官職を受く。華嚴敎學の権威として知られた。

遺稿『六字釋講話』（昭和九年二月十五白顯眞學苑出版部「顯眞學苑 修造叢書」）。

